

Compute Ops Management アクティベーション クイックリファレンスガイド

2024年10月

日本ヒューレット・パッカーード合同会社

Compute Ops Management アクティベーション コンテンツ概要

COMのアクティベーション作業について

アクティベーション方法 HPE GreenLake Workspace ID手法

アクティベーション方法 トークンベース手法

Compute Ops Management(COM)のアクティベーションについて

ハードウェアにバンドルされてご購入頂いたCOMライセンスはご利用に当りアクティブ化作業が必要となります。
アクティベーション期限は18日以内となります。本ガイドに沿ってアクティブ化作業を18日以内に実施を頂けます様、お願いいたします。
18日以内に作業が実施されなかった場合は、自動的にCOMのアクティブ化が実施されます。

ユースケース	ライセンスのアクティブ化	ディストリビューター様/ 販売パートナー様への請求
ユースケース1:お客様が18日以内にライセンスを有効にする 0日目:ディストリビューターまたは販売パートナーが100個 COMサブスクリプションを注文した 12日目:お客様は10台のデバイスをオンボードし、HPE GreenLakeプラットフォームでライセンスを割り当てました。これにより、ご購入頂いた100個、全てのCOMサブスクリプションがアクティブ化されます。	ライセンスは12日目にユーザーによってアクティブ化される。	アクティブ化から2-3日後にディストリビューター様/販売パートナー様に請求します。
ユースケース2:お客様が18日以内にライセンスをアクティブ化しない 0日目:ディストリビューターまたは販売パートナーが100個 COMサブスクリプションを注文した 19日目:お客様がデバイスをオンボードせず、ライセンスを割り当てていない	19日目にライセンスが自動的にアクティブ化される。	アクティブ化から2-3日後にディストリビューター様/販売パートナー様に請求します。

- ・ハードウェアとCOMの請求書は分かれて送付されます
- ・COMの請求書は最初のライセンスx1つをアクティブ化すると送付されます
- ・COMの請求書はアクティベーションから2-3日後に送付されます

COMには2つのアクティベーション方法がございます

以下いずれかの手法でアクティベーションをお願いします。

HPE GreenLake Workspace ID手法

HPE GreenLake Workspace ID手法:
COMリリース当初から実装されていたアクティベーション方法

条件:
COMに対応しているサーバー全て

トークンベース (PIN) 手法

トークンベース手法とは:
新しく追加されたアクティベーション方法

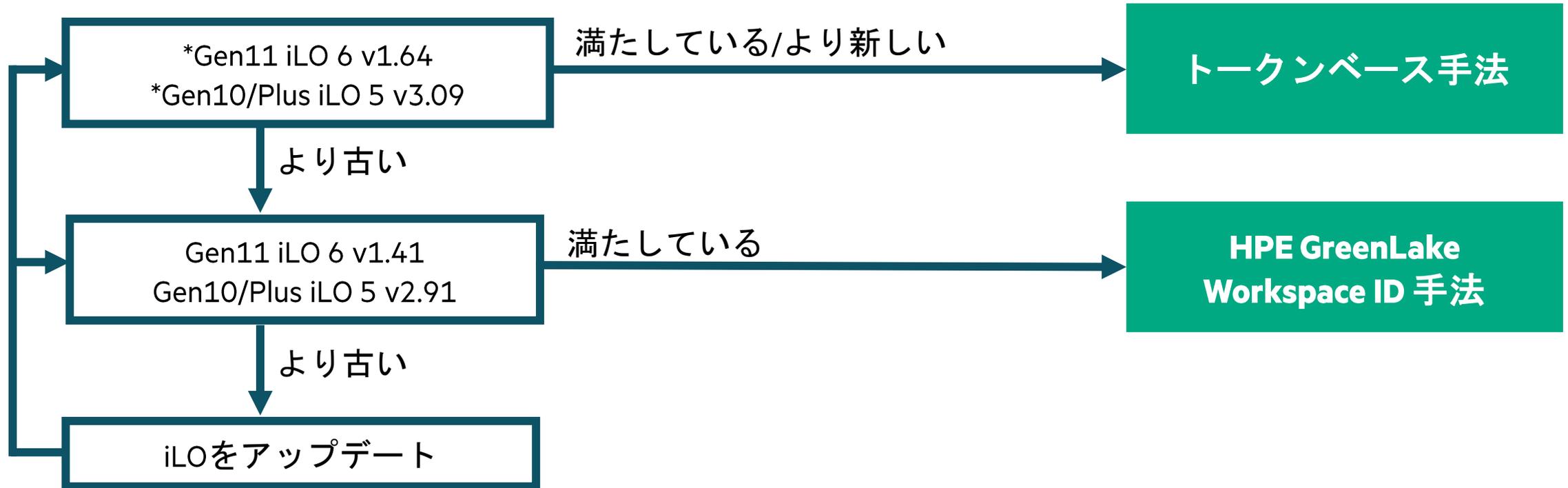
条件:
iLO 6 v1.64以上のHPE ProLiant Gen11サーバーまたは
iLO 5 v3.09以上のHPE ProLiant Gen10/Plusサーバー

HPE GreenLake Workspace ID手法と比べたメリット:

- ・サーバーをHPE GreenLake ワークスペースへ登録するためにサーバーのシリアル番号と製品IDを入力する必要がなくなり、より簡素にアクティベーションが可能です
- ・アクティベーションキーの有効期限を指定できるので、よりセキュアに設定いただけます。

どの手法が適しているかは次のページの
フローチャートを参考にしてください

どの手法が適しているかのフローチャート



 *この手法のみ利用可能

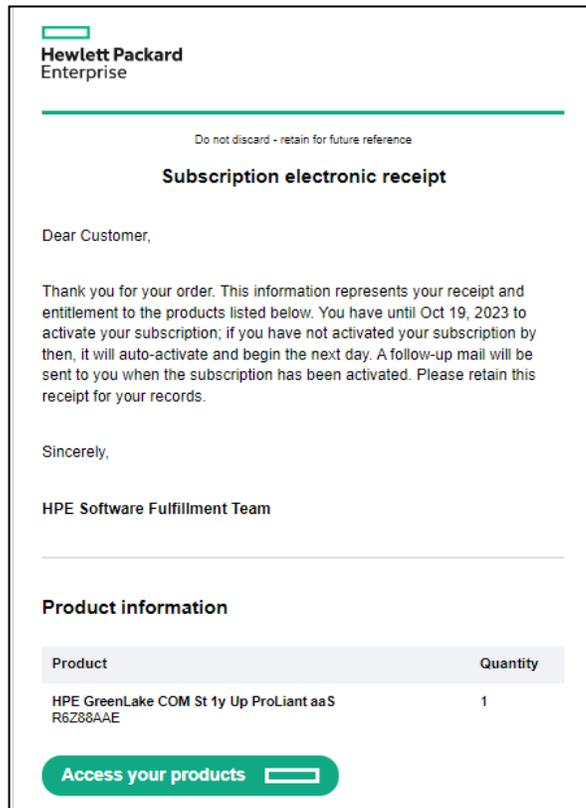
HPE GreenLake Workspace ID手法



ステップ1: Compute Ops Management アクティベーション 電子メール

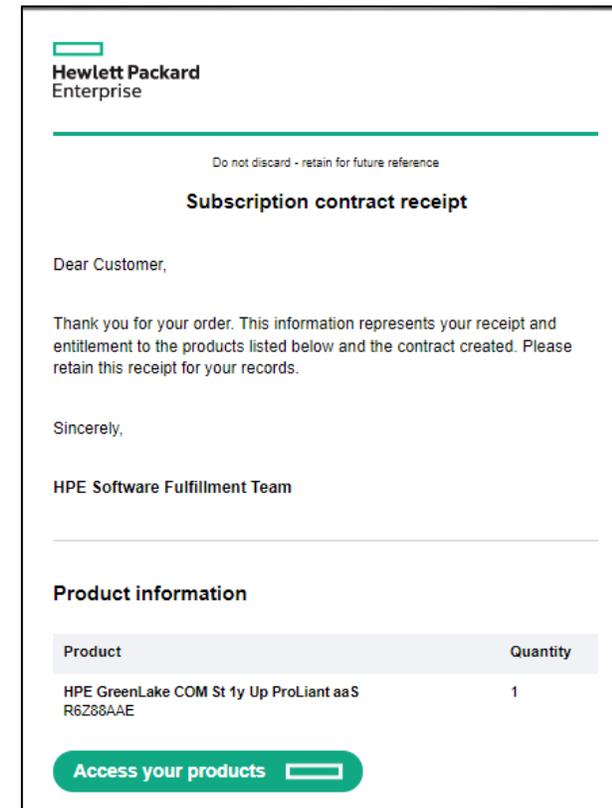
注文が処理されると、販売パートナー様、およびお客様は、ステータスに応じ対応するライセンス情報を含むサブスクリプション電子領収書を電子メールで受け取ります。

Delayed Activation電子メール



HW出荷後に送付される納品メール

アクティベーション電子メール



Activation完了後にお客様に送付されるメール

ステップ2: サブスクリプション契約受領書

前のスライドの電子メールで、お客様は「Access your Products」をクリックする事でこのページに移動し、案内状、手順、および取引情報を表示できます。

Subscription contract receipt

Dear Customer,

Thank you for your order. This information represents your receipt and entitlement to the products listed below and the contract created. Please retain this receipt for your records.

Products Available At - **HPE GreenLake Cloud Platform (GLCP)**

Product	Quantity	Product Info	Document(s)	Instructions
HPE GreenLake Cmp Ops Mgm Enhanced 3 Year(s) Monthly ProLiant SaaS R6Z73AAE View Attributes	1	Key: YHAY4ETHHAU7 Start Date: 2023/11/06 End Date: 2026/11/06	ComputeOpsManagement_WelcomeLetter.pdf	Please download the Welcome Letter. To unleash the power of seamless monitoring, management, and visibility of your server environment, please follow these quick and easy steps and set up HPE GreenLake for Compute Ops Management in less than 15 min. <ol style="list-style-type: none">1. Sign in or create your GreenLake Cloud Platform account2. Set up your subscriptions (3m video)3. Connect your servers and you are done! (5m video) For more detailed information, please view the Getting Started Guide .

[Manage Your Subscription](#)

HPE GreenLake Cloud Platform
<https://common.cloud.hpe.com>に移動します。

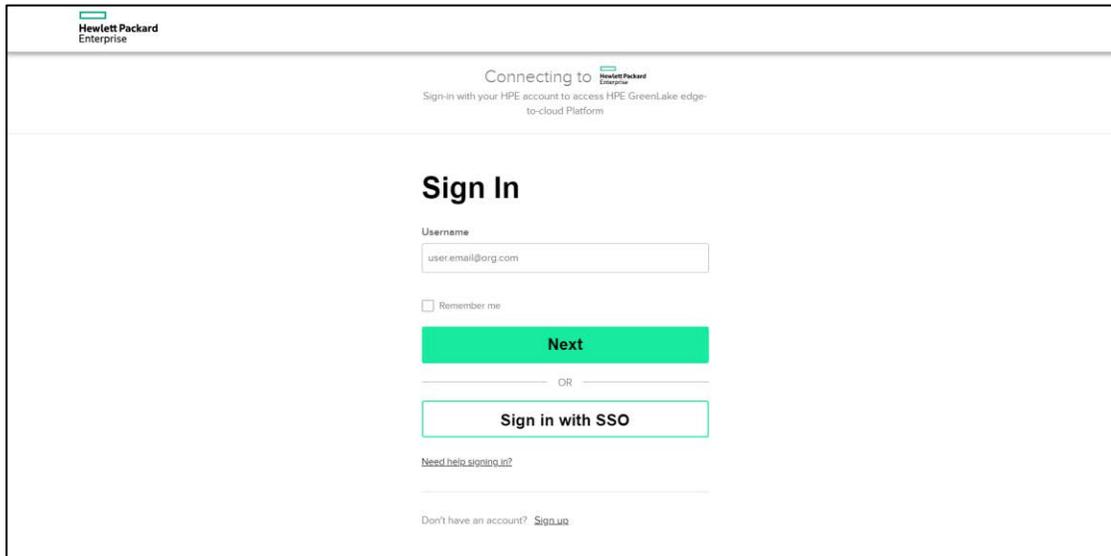


Welcome Letter

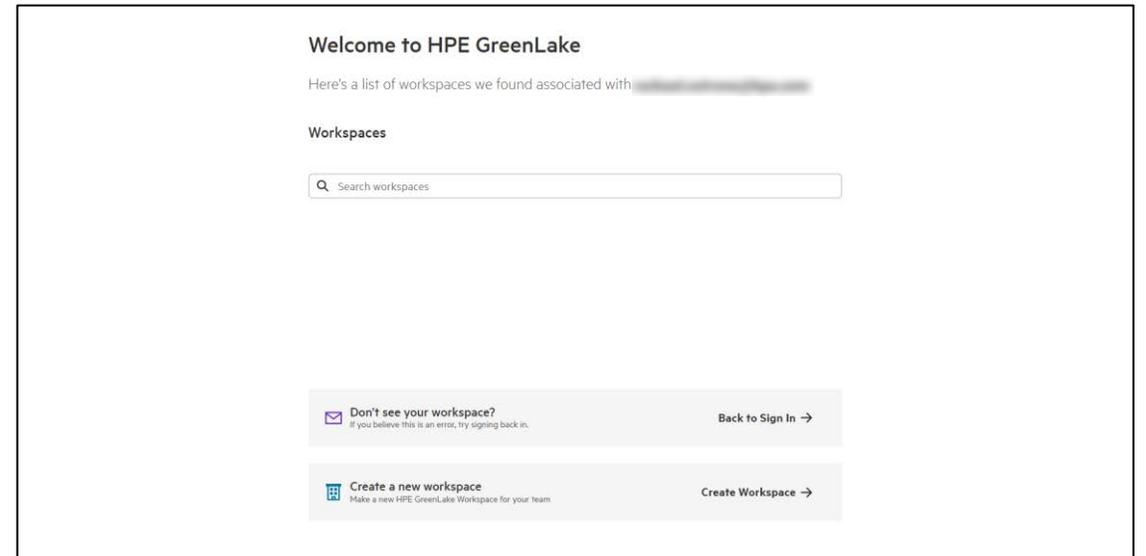


ステップ3: HPE GreenLake Account

<https://common.cloud.hpe.com>に移動して、HPE GreenLake Platformにサインアップまたはログインします。ログインしたら、Compute Ops Managementをアクティブ化するワークスペースを選択または作成します。



The screenshot shows the HPE GreenLake sign-in page. At the top left is the Hewlett Packard Enterprise logo. The main heading is "Connecting to HPE GreenLake Platform" with a subtext "Sign-in with your HPE account to access HPE GreenLake edge-to-cloud Platform". Below this is a "Sign In" section with a "Username" input field containing "user.email@org.com", a "Remember me" checkbox, a green "Next" button, and a "Sign in with SSO" button. At the bottom, there are links for "Need help signing in?" and "Don't have an account? Sign up".



The screenshot shows the "Welcome to HPE GreenLake" page. It displays a list of workspaces associated with the user, with a search bar labeled "Search workspaces". Below the search bar, there are two main options: "Don't see your workspace? If you believe this is an error, try signing back in. Back to Sign In ->" and "Create a new workspace Make a new HPE GreenLake Workspace for your team. Create Workspace ->".

※HPE My Account のユーザーアカウントをお持ちでない場合は、事前に作成を行ってください。作成は左側画面、一番下の Sign up から行ってください。ワークスペースは Create a new workspace から作成ください



ステップ4: Compute Ops Management アプリケーションの追加

「サービスの検索」->「Compute Ops Management」に移動し、「概要」ページの「アプリケーションの設定」でCompute Ops Managementアプリケーションを追加します。リージョンを選択し、利用規約に同意してアプリケーションをデプロイします。

HPE GreenLake HPE-J

ホーム サービス デバイス

サービスカタログ

Compute Ops Management

コンピュート

セールスに連絡する [📧](#) [起動](#)

概要 地域 (3)

概要

Compute Ops Managementは、エッジからクラウドまでのコンピュート環境のプロビジョニングと管理を簡素化する、セキュアでシームレスなクラウドベースのサービスエクスペリエンスです。エッジからクラウドまでのコンピュート管理を統合し、アジャイルなクラウド運用を確保し、コンピュートライフサイクル管理を簡素化、自動化します。

機能

- 一元化されたクラウドエクスペリエンスにより、コンピュート管理の運用を合理化します。
- 分散環境を迅速に可視化し、サーバーにリアルタイムでアクセスして問題を特定します。
- アジャイルなサーバーライフサイクル管理により、手作業を減らし、効率性を高め、クリティカルなハードウェア障害を警告することで、時間とコストを節約します。

詳細

利用可能な地域

- AP NorthEast
- US West
- EU Central

サポートされているワークスペースタイプ
標準エンタープライズワークスペース

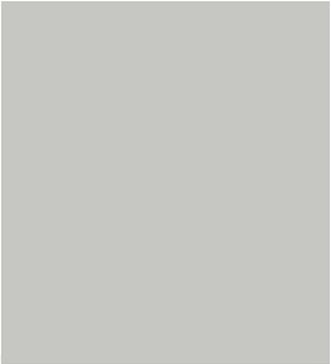
ドキュメント
<https://www.hpe.com/info/com-gsg>

サービス規約

ステップ5: アイデンティティとアクセス管理

「ワークスペースの管理」で「IDとアクセス」をクリックして、「役割とアクセス許可」でユーザーにロールを割り当て、「ユーザー」でワークスペースにユーザーを招待します。

ワークスペースの管理
HPE GreenLakeワークスペースを管理します。



 ワークスペースの詳細 名前、電話番号、メールアドレス、MFA構成など、ワークスペースの詳細を管理します。	 IDとアクセス ユーザーとそのサービスおよびリソースへのアクセスを管理します。	 監査ログ すべてのアプリケーションの変更とプロセスを表示します。
 認証 会社のシングルサインオン (SSO) をHPE GreenLakeに接続します。	 API APIを介してアプリケーションデータにアクセスします。	 IPアクセスルール IPアクセスをセットアップして管理します。
 使用状況レポート サブスクリプションとシステムリソースの使用状況を追跡します。	 ローカルゲートウェイ ボタン一つでデバイスのトラフィックを安全に制御	 ロケーション デバイスの住所を管理し、サポートサービスを自動化します。

ホーム サービス デバイス

ワークスペースの管理
IDとアクセス
ユーザーとリソースへのアクセスを安全に管理します。

管理

 ユーザー HPE GreenLakeのワークスペースにアクセスするユーザーを招待し、リソースへのユーザーアクセスを管理します。	 役割とアクセス許可 ユーザー役割を管理します。	 リソース制限ポリシー より詳細なアクセス制御のため、カスタマイズ可能なリソースグループで役割のアクセスを制限します。
---	---	--

クイックアクション

 ユーザーの招待 HPE GreenLakeのワークスペースにアクセスするユーザーを招待します。 ユーザーの招待	 役割の割り当て ユーザーに適切な権限を割り当てます。 役割の割り当て	 アクセス履歴の表示 IDの割り当てとアクティベーションの履歴を表示し、コンプライアンス維持を可能にします。 履歴の表示
--	---	--

ステップ6: サブスクリプションの追加

サブスクリプションを追加するには、「デバイス」をクリックして左側の「デバイスのサブスクリプション」をクリックします。「デバイスのサブスクリプションの追加」からサブスクリプションキーを入力します。

デバイス
インベントリ内のすべてのデバイスをオンボードおよび管理します。

インベントリ
タグ
デバイスのサブスクリプション
自動サブスクリライブ

デバイスのサブスクリプション
デバイスのサブスクリプションキーを管理および追加します。サービスサブスクリプションはこちらにあります

サブスクリプションキーの検索 | すべてのデバイスタイプ | Clear filters | アクション

サブスクリプションキー	Tier	利用可能	合計数	有効期限 ↓
K785444439	Enhanced-Proliant	8	15	5月 16, 2027
K788951037	Enhanced-Proliant	15	15	5月 16, 2027

概要
Enhanced-Proliant
7/30割り当て済み

デバイスのサブスクリプションの追加

インベントリにサブスクリプションキーを追加します。

サブスクリプションキー

サブスクリプションキーの入力

キャンセル

送信

ステップ7: HPE GreenLakeにサーバを追加する

サーバーを追加するには、上部バーの「デバイス」をクリックし、「デバイスの追加」をクリックします。デバイスタイプの選択で「コンピュータデバイス」を選択し、「Next」をクリックしてください。手順2では、.csvファイルから、または手動でサーバーシリアル番号と製品IDを追加します。必要に応じて「タグの割り当て」と「ロケーションとサービスデリバリー担当者」を割り当てます。完了後、「Finish」をクリックし、デバイスが追加されるのを待ちます。

デバイス

インベントリ内のすべてのデバイスをオンボードおよび管理します。

インベントリ

タグ

デバイスのサブスクリプション

自動サブスクリライブ

デバイスの追加

すべてのデバイスを表示するか、新しいデバイスを追加します。

サービスマネージャーの割り当てが必要
17

サブスクリプションが必要
0

割り当て済みおよびサブスクリプション済み
7

合計デバイス数
24

シリアル、モデル、またはMACアドレスで検索

Clear filters

アクション

24 デバイス

シリアル番号	モデル	サービスマネージャー	サブスクリプションTier	MACアドレス	サービス地域	タグ
<input type="checkbox"/>	SGH342M	HPE PROLIANT DL325 GEN11	Compute Ops	Enhanced-Proliant	5C:ED:8C:00:27:EE	AP NorthEast 1

Step 1 of 5

デバイスタイプの選択

インポートするデバイスタイプを選択します。

デバイスタイプ

コンピュータデバイス

コンピュータデバイスを追加するための前提条件

Next

Step 2 of 5

シリアル番号と製品ID

追加するデバイスのシリアル番号と製品IDを入力します。

所有権タイプ

csvファイル

シリアル番号と製品ID

シリアル番号

MZSD4PD005

製品ID

8744605011

入力

Next

ステップ8: 新しいサーバーにアプリを割り当てる

デバイス->インベントリで、新しく追加されたデバイスを見つけます。右側で、アクション->サービスマネージャーへの割り当てを選択します。サービスマネージャーの下で、Compute Ops Managementを選択し、地域の下でリージョンを選択します。

Step 1 of 1

(1) デバイスをサービスマネージャーインスタンスに割り当てる

デバイスに割り当てるサービスマネージャーとサービスインスタンスを選択します。

コンピュータデバイス (1) | 1コンピュータサーバー

サービスマネージャー* 地域*

Compute Ops Management Select

Finish



ステップ9: サブスクリプションの適用

デバイス->インベントリの下に戻り、アクティブ化するデバイスを選択します。右側で、アクション->サブスクリプションの適用を選択します。サブスクリプションの適用で該当するサブスクリプションを選択し、サブスクリプションの適用をクリックします。

デバイス
インベントリ内のすべてのデバイスをオンボードおよび管理します。

インベントリ
すべてのデバイスを表示するか、新しいデバイスを追加します。

タグ
デバイスのサブスクリプション
自動サブスクリプション

サービスマネージャーの割り当てが必要 17
サブスクリプションが必要 1
割り当て済みおよびサブスクリプション済み 6
合計デバイス数 24

シリアル、モデル、またはMACアドレスで検索
Clear filters

シリアル番号	モデル	サービスマネージャー	サブスクリプションTier	MACアドレス	サービス地域	タグ
<input type="checkbox"/> SGH342M349	HPE PROLIANT DL325 GEN11	Compute Ops Management	--	5CED8C00:27EE	AP NorthEast	1
<input type="checkbox"/> SGH340FM80	HPE PROLIANT DL360 GEN11	--	--	5CED8CAG:70:5E	--	1
<input type="checkbox"/> SGH340FMSY	HPE PROLIANT DL380 GEN11	Compute Ops Management	Enhanced-Proliant	5CED8CAC:80:54	AP NorthEast	1
<input type="checkbox"/> SGH332K3XX	HPE PROLIANT ML350 GEN11	--	--	5CED8CAB:58:CE	--	0
<input type="checkbox"/> 7CE723P00C	HPE PROLIANT DL160 GEN10 SERVER	--	--	--	--	0
<input type="checkbox"/> SGH317YQLV	HPE PROLIANT DL360 GEN11	--	--	--	--	0
<input type="checkbox"/> SGH310TQW	HPE PROLIANT DL380 GEN11	--	--	5CED8CAB:31:5D	--	0

デバイスにサブスクリプションを適用
各デバイスの空いているシートを1つ選択してください。サブスクリプションキーは、有効期限の早いものからデバイスに適用されます。

サーバー 1台中1台のデバイスにサブスクリプションが必要です

サブスクリプションTierの選択
Enhanced-Proliant

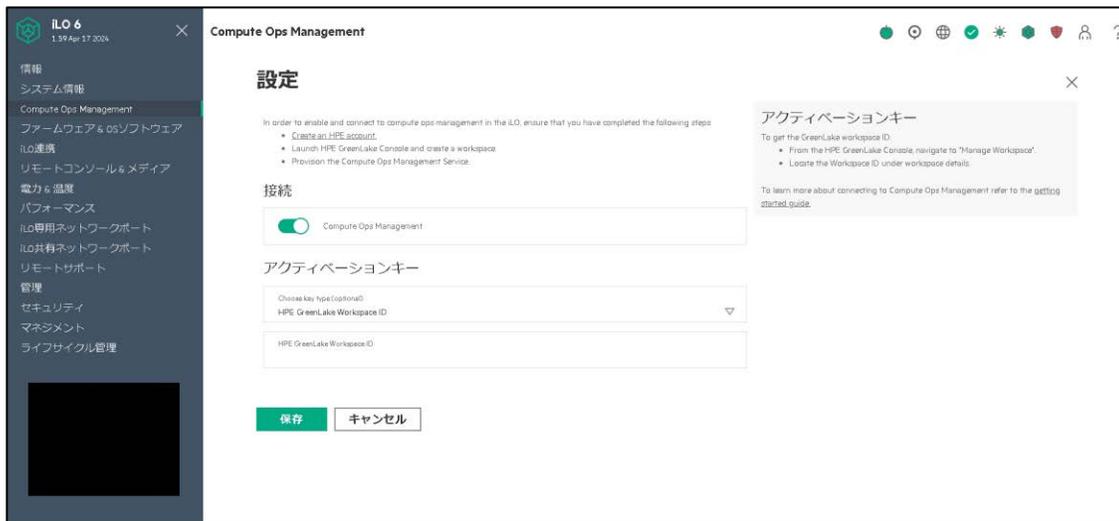
サブスクリプションキー Tier 利用可能 有効期限 ↓

選択の消去 キャンセル サブスクリプションの適用

これでActivation作業は完了です。
(ここまで終われば請求書が発行されます。)

ステップ10: iLOをHPE GreenLakeに接続する

「ワークスペースの管理」で、後で使用するためにワークスペースIDのコピーを作成します。次に、デバイスのiLOに移動し、「管理」に移動します。「Compute Ops Management」タブで、「Activation キー」ブランクにアカウントIDを貼り付け、「Connect」をクリックします。これで、デバイスがCompute Ops Managementポータルに表示されます。



COMで実際にサーバー管理を行うためには
こちらの手続きも必要となります

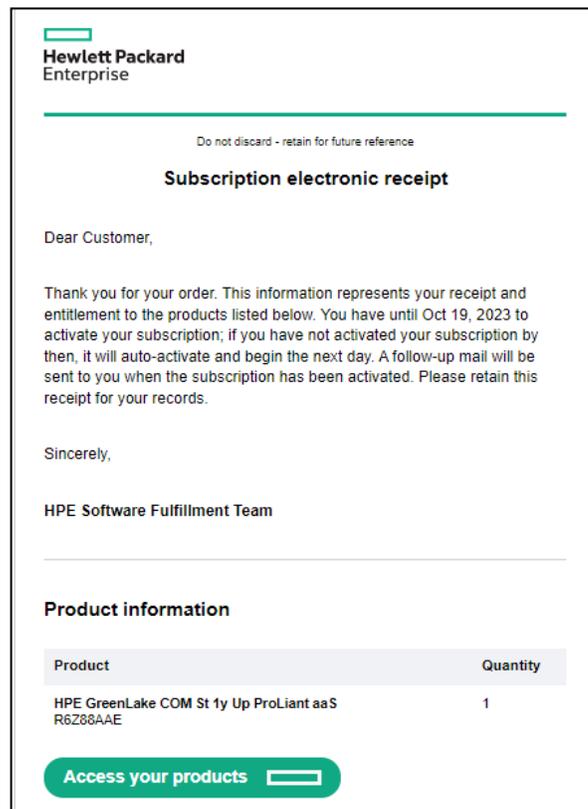
トークンベース手法



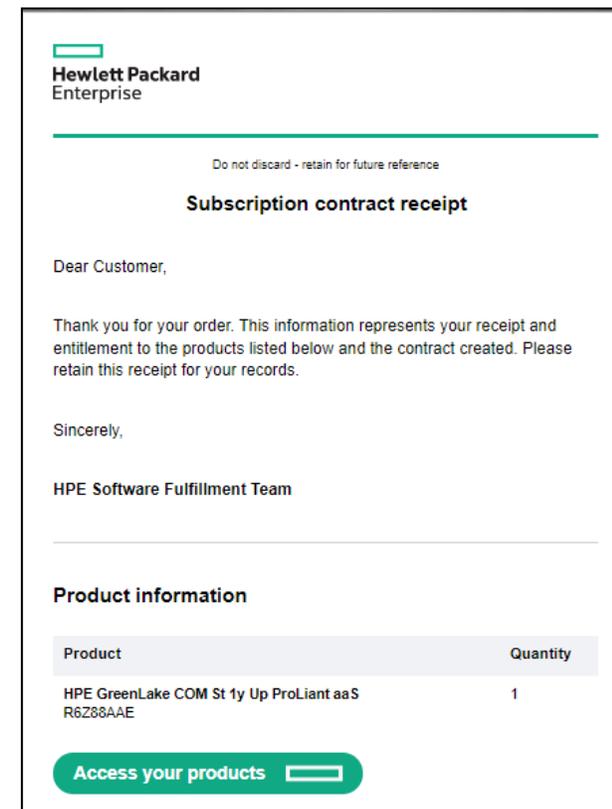
ステップ1: Compute Ops Management アクティベーション 電子メール

注文が処理されると、販売パートナー様、およびお客様は、ステータスに応じ対応するライセンス情報を含むサブスクリプション電子領収書を電子メールで受け取ります。

Delayed Activation電子メール



アクティベーション電子メール



HW出荷後に送付される納品メール

Activation完了後にお客様に送付されるメール

ステップ2: サブスクリプション契約受領書

前のスライドの電子メールで、お客様は「Access your Products」をクリックする事でこのページに移動し、案内状、手順、および取引情報を表示できます。

Subscription contract receipt

Dear Customer,

Thank you for your order. This information represents your receipt and entitlement to the products listed below and the contract created. Please retain this receipt for your records.

Products Available At - **HPE GreenLake Cloud Platform (GLCP)**

Product	Quantity	Product Info	Document(s)	Instructions
HPE GreenLake Cmp Ops Mgm Enhanced 3 Year(s) Monthly ProLiant SaaS R6Z73AAE View Attributes	1	Key: YHAY4ETHHAU7 Start Date: 2023/11/06 End Date: 2026/11/06	ComputeOpsManagement_WelcomeLetter.pdf	Please download the Welcome Letter. To unleash the power of seamless monitoring, management, and visibility of your server environment, please follow these quick and easy steps and set up HPE GreenLake for Compute Ops Management in less than 15 min. <ol style="list-style-type: none">1. Sign in or create your GreenLake Cloud Platform account2. Set up your subscriptions (3m video)3. Connect your servers and you are done! (5m video) For more detailed information, please view the Getting Started Guide .

[Manage Your Subscription](#)

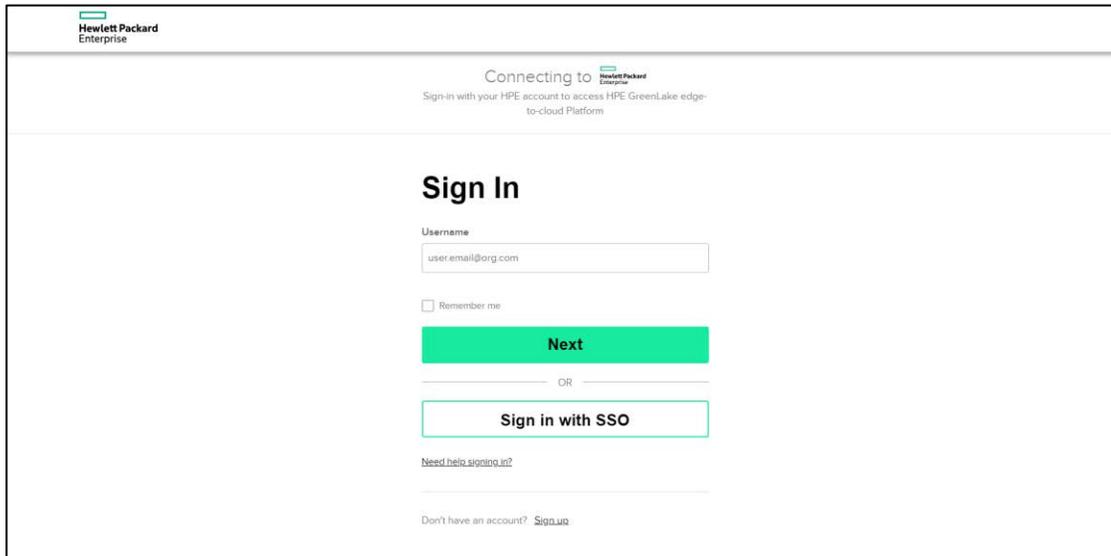
HPE GreenLake Cloud Platform
<https://common.cloud.hpe.com>に移動します。



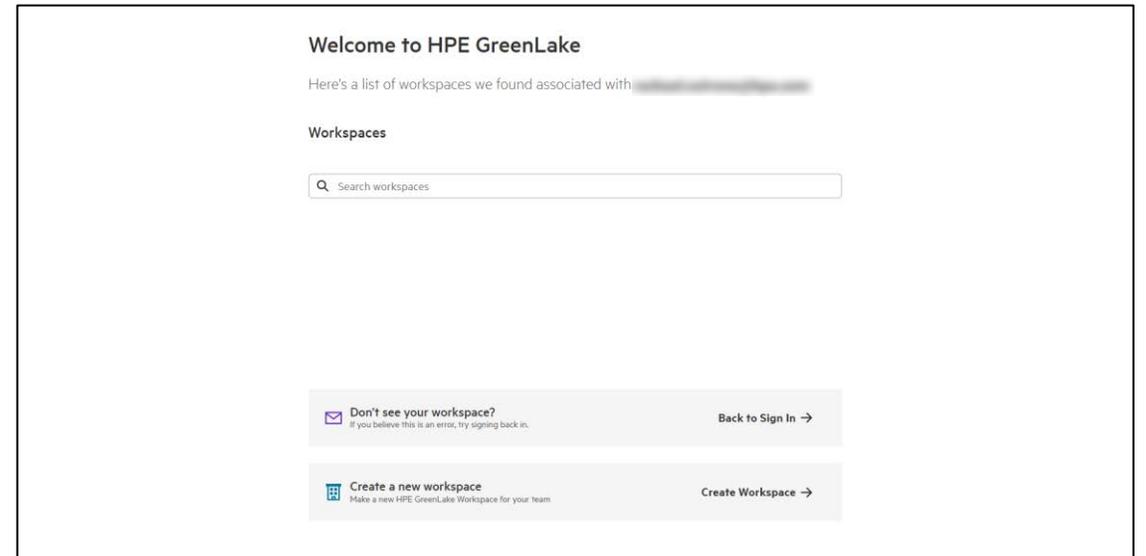
Welcome Letter

ステップ3: HPE GreenLake Account

<https://common.cloud.hpe.com>に移動して、HPE GreenLake Platformにサインアップまたはログインします。ログインしたら、Compute Ops Managementをアクティブ化するワークスペースを選択または作成します。



The screenshot shows the HPE GreenLake sign-in interface. At the top left is the Hewlett Packard Enterprise logo. The main heading is "Connecting to HPE GreenLake Platform" with a subtext "Sign-in with your HPE account to access HPE GreenLake edge-to-cloud Platform". Below this is a "Sign In" section with a "Username" input field containing "user.email@org.com", a "Remember me" checkbox, a green "Next" button, and an "OR" separator. Below the separator is a "Sign in with SSO" button. At the bottom, there are links for "Need help signing in?" and "Don't have an account? Sign up".



The screenshot shows the "Welcome to HPE GreenLake" page. It displays a message: "Here's a list of workspaces we found associated with [redacted]". Below this is a "Workspaces" section with a search input field labeled "Search workspaces". At the bottom, there are two buttons: "Don't see your workspace? Back to Sign In →" and "Create a new workspace Create Workspace →".

※HPE My Account のユーザーアカウントをお持ちでない場合は、ワークスペースは>Create a new workspace<から作成ください。事前に作成を行ってください。作成は左側画面、一番下のSign up から行ってください。



ステップ4: Compute Ops Management アプリケーションの追加

「サービスの検索」->「Compute Ops Management」に移動し、「概要」ページの「アプリケーションの設定」でCompute Ops Managementアプリケーションを追加します。リージョンを選択し、利用規約に同意してアプリケーションをデプロイします。

The screenshot shows the HPE GreenLake user interface. At the top, there is a navigation bar with the HPE GreenLake logo, a dropdown menu for 'HPE-J', and links for 'ホーム', 'サービス', and 'デバイス'. On the right side of the navigation bar are icons for notifications, a grid, a refresh, and a user profile. Below the navigation bar, the page title is 'サービスカタログ' (Service Catalog). The main content area features the 'Compute Ops Management' service card. The card includes a 'セールスに連絡する' (Contact Sales) link and a green '起動' (Start) button. Below the service name, there are tabs for '概要' (Overview) and '地域 (3)' (Regions (3)). The '概要' tab is active, showing a summary of the service: 'Compute Ops Managementは、エッジからクラウドまでのコンピューター環境のプロビジョニングと管理を簡素化する、セキュアでシームレスなクラウドベースのサービスエクスペリエンスです。エッジからクラウドまでのコンピューター管理を統合し、アジャイルなクラウド運用を確保し、コンピューターライフサイクル管理を簡素化、自動化します。' (Compute Ops Management is a secure, seamless cloud-based service experience that simplifies provisioning and management of compute environments from edge to cloud. It integrates compute management from edge to cloud, ensures agile cloud operations, and simplifies and automates compute lifecycle management.) Below the summary, there is a '機能' (Features) section with a bulleted list: '一元化されたクラウドエクスペリエンスにより、コンピューター管理の運用を合理化します。' (Simplify compute management operations with a unified cloud experience.); '分散環境を迅速に可視化し、サーバーにリアルタイムでアクセスして問題を特定します。' (Rapidly visualize distributed environments and access servers in real-time to identify issues.); 'アジャイルなサーバーライフサイクル管理により、手作業を減らし、効率性を高め、クリティカルなハードウェア障害を警告することで、時間とコストを節約します。' (Reduce manual work, improve efficiency, and warn of critical hardware failures with agile server lifecycle management, saving time and cost.). To the right of the main content, there is a '詳細' (Details) section. It lists '利用可能な地域' (Available Regions) as 'AP NorthEast', 'US West', and 'EU Central'. It also mentions 'サポートされているワークスペースタイプ' (Supported Workspace Types) as '標準エンタープライズワークスペース' (Standard Enterprise Workspace). Below that, there is a 'ドキュメント' (Documents) section with a link to 'https://www.hpe.com/info/com-gsg' and a 'サービス規約' (Service Terms) link.



ステップ5: アイデンティティとアクセス管理

「ワークスペースの管理」で「IDとアクセス」をクリックして、「役割とアクセス許可」でユーザーにロールを割り当て、「ユーザー」でワークスペースにユーザーを招待します。

ワークスペースの管理
HPE GreenLakeワークスペースを管理します。



 ワークスペースの詳細 名前、電話番号、メールアドレス、MFA構成など、ワークスペースの詳細を管理します。	 IDとアクセス ユーザーとそのサービスおよびリソースへのアクセスを管理します。	 監査ログ すべてのアプリケーションの変更とプロセスを表示します。
 認証 会社のシングルサインオン (SSO) をHPE GreenLakeに接続します。	 API APIを介してアプリケーションデータにアクセスします。	 IPアクセスルール IPアクセスをセットアップして管理します。
 使用状況レポート サブスクリプションとシステムリソースの使用状況を追跡します。	 ローカルゲートウェイ ボタン一つでデバイスのトラフィックを安全に制御	 ロケーション デバイスの住所を管理し、サポートサービスを自動化します。

ホーム サービス デバイス

ワークスペースの管理
IDとアクセス
ユーザーとリソースへのアクセスを安全に管理します。

管理

 ユーザー HPE GreenLakeのワークスペースにアクセスするユーザーを招待し、リソースへのユーザーアクセスを管理します。	 役割とアクセス許可 ユーザー役割を管理します。	 リソース制限ポリシー より詳細なアクセス制御のため、カスタマイズ可能なリソースグループで役割のアクセスを制限します。
---	---	--

クイックアクション

 ユーザーの招待 HPE GreenLakeのワークスペースにアクセスするユーザーを招待します。 ユーザーの招待	 役割の割り当て ユーザーに適切な権限を割り当てます。 役割の割り当て	 アクセス履歴の表示 IDの割り当てとアクティベーションの履歴を表示し、コンプライアンス維持を可能にします。 履歴の表示
--	---	--

ステップ6: サブスクリプションの追加

サブスクリプションを追加するには、「デバイス」をクリックして左側の「デバイスのサブスクリプション」をクリックします。「デバイスのサブスクリプションの追加」からサブスクリプションキーを入力します。

The screenshot shows the HPE GreenLake interface for device management. The main heading is 'デバイス' (Devices). Below it, there's a section for 'デバイスのサブスクリプション' (Device Subscriptions) with a button labeled 'デバイスのサブスクリプションの追加' (Add Device Subscription). A table lists existing subscriptions with columns for 'サブスクリプションキー' (Subscription Key), 'Tier', '利用可能' (Available), '合計数' (Total Count), and '有効期限' (Expiration Date). A summary box on the right shows 'Enhanced-Proliant' with a progress indicator '7/30割り当て済み' (7/30 assigned).

サブスクリプションキー	Tier	利用可能	合計数	有効期限 ↓
K785444439	Enhanced-Proliant	8	15	5月 16, 2027
K788951037	Enhanced-Proliant	15	15	5月 16, 2027

デバイスのサブスクリプションの追加

インベントリにサブスクリプションキーを追加します。

サブスクリプションキー

サブスクリプションキーの入力

キャンセル

送信

ステップ7: Compute Ops Managementを起動

「サービス」のタブから「Compute Ops Management」の横の「起動」をクリックしてCOMを起動します

The screenshot shows the HPE GreenLake interface with the 'サービス' (Services) tab selected. Under the 'マイサービス' (My Services) section, the 'Compute Ops Management' service is listed under the 'AP NorthEast' region. A red box highlights the '起動' (Start) button next to the service name.

The screenshot shows the 'Compute Ops Management' dashboard. It features three summary cards: 'サーバーヘルスステータス' (Server Health Status) with 0 servers, 'iLOセキュリティステータス' (iLO Security Status) with 0 servers, and 'ファームウェアコンプライアンス' (Firmware Compliance) with 0% compliant. Below these cards, there are sections for '注意が必要' (Attention Required) and '推奨アクション' (Recommended Action), both showing 'なし' (None). A personalized message reads: 'ようこそ、Ryoさん。デバイスの追加から始めてください。' (Welcome, Ryo-san. Please start by adding devices.) with a link to 'デバイスを追加する方法' (How to add devices).



ステップ8: サーバーを追加

「サーバー」のタブをクリックし、「サーバーの追加」をクリック

The screenshot displays the HPE GreenLake Compute Ops Management dashboard. The 'Servers' tab is selected in the top navigation bar. A button labeled 'サーバーの追加' (Add Server) is highlighted with an orange rectangular box. Below the navigation bar, there are three summary cards: 'サーバーヘルスステータス' (Server Health Status) showing 0 servers, 'iLOセキュリティステータス' (iLO Security Status) showing 0 servers, and a '注意が必要' (Attention Required) card with 'なし' (None). Below these cards is a search bar for server attributes, a dropdown for 'All servers', and a table header with columns: 'ヘルス' (Health), '名前' (Name), 'シリアル' (Serial), 'iLOセキュリティ' (iLO Security), '状態' (Status), 'ベスライン' (Baseline), 'グループ' (Group), '電源' (Power), 'タグ' (Tag), and 'モデル' (Model). On the right side, there is an 'アクティビティ' (Activities) section with a link to 'すべてのアクティビティを表示' (Show all activities).

ステップ9: アクティベーションキーを発行

ここではアクティベーションキーの有効期限を指定できます。
設定した期限の間のみアクティベーションキーが有効となります。

サーバーの追加
サーバーの追加に関する詳細情報

① HPE GreenLakeのユーザー役割に、デバイスとサブスクリプションサービスの編集パーミッションが含まれていることを確認してください。
この方法を使用してサーバーをアクティブ化すると、サーバーが HPE GreenLake デバイス インベントリに追加され、アクティベーションキーに関連付けられた Compute Ops Management リージョンに割り当てられます。

有効期限
キーの有効期間を選択

12 時間

キャンセル **アクティベーションキーの取得**

サーバーの追加
サーバーの追加に関する詳細情報

① HPE GreenLakeのユーザー役割に、デバイスとサブスクリプションサービスの編集パーミッションが含まれていることを確認してください。
この方法を使用してサーバーをアクティブ化すると、サーバーが HPE GreenLake デバイス インベントリに追加され、アクティベーションキーに関連付けられた Compute Ops Management リージョンに割り当てられます。

有効期限
キーの有効期間を選択

12 時間

30 分

1 時間

6 時間

12 時間

1 日

3 日

1 週

キーの取得

モデル

ステップ10: アクティベーションキーをiLOに貼付け

発行されたアクティベーションキーをコピーし、iLO Webインターフェイスの「Compute Ops Management」の「Compute Ops Management」を有効化し、アクティベーションキーの欄にコピーしたアクティベーションキーを貼付けし、「保存」をクリック。

アクティベーションキー
アクティベーションキーを使用したサーバーの追加に関する詳細情報

① HPEでは、サーバーインベントリの収集を可能にするため、Compute Ops Managementに接続するサーバーを電源オン状態にすることを推奨しています。サーバーの電源がオフの場合、Compute Ops Managementはサーバーの電源をオンにし、オペレーティングシステムの直前までプリブートし、インベントリを収集してからサーバーの電源をオフにします。

iLOファームウェアバージョンの要件

① アクティベーションキーを使用する前に、iLOを以下の最小バージョンにアップデートする必要があります。 [詳細情報](#)

iLOの世代	サポートされるバージョン
iLO 6	v1.59, v1.61, v1.62 and v1.63
iLO 5	v3.09 or later

アクティベーションキーの詳細

接続タイプ: Direct connect
有効期限: Fri Oct 25 2024 15:36
サブスクリプションキー: -

アクティベーションキー

JB9422FM8

閉じる

HPE GreenLake for Compute Ops Management

HPE GreenLake for Compute Ops Management Settings

Activation Key

To obtain an activation key

1. Log in to an HPE GreenLake workspace <https://common.cloud.hpe.com/> and then start a Compute Ops Management service instance.
2. Click **Servers**, and then click **Add server**.
3. Enter the required details and then click **Get activation key**.
4. Click the copy icon to copy the generated key, and then click **Close**. Save the activation key in a secure location. You can use it to activate multiple servers in the service instance you used to generate the key, until the key expires.
5. Return to this page, enter the activation key, and then click **Save** to initiate a connection to Compute Ops Management.

For more information, see the [HPE GreenLake for Compute Ops Management Getting Started Guide](#)

Activation key

Connection

HPE GreenLake for Compute Ops Management

Save

The background features a series of wavy, concentric lines that create a sense of depth and movement. The colors transition from a deep blue on the left to a vibrant red on the right, with various shades of purple and magenta in between. The lines are more densely packed in some areas, creating a textured effect.

Thank you